

平成21年度 保健福祉局実施プラン期末報告

1 実施結果の概要（報告）

（1）局実施プランの概要

ア 保健福祉局の使命

保健福祉局の使命は、保健福祉行政を推進し、札幌市民の福祉の向上を図ることです。すなわち、保健福祉サービスを利用する市民の利益を保護するとともに地域における保健福祉サービスの向上を図り、地域社会を維持、発展させていくことです。

イ 保健福祉局の6つの目標

この使命を果たすために、以下の6つの目標を定め、市民と共に考え、共に行動することを念頭に、誰もが安心して快適に心ゆたかに暮らすことのできるまちづくりを進めました。

- 1 高齢者や障がいのある方が自立した生活ができるための支援
- 2 救急医療体制の確保と災害医療体制の整備
- 3 食の安全・安心の確保や感染症対策をはじめとする健康危機管理体制の充実
- 4 次世代を担う子どもが健やかに育つ環境づくりの推進
- 5 生涯を通じた市民の健康づくりの支援
- 6 社会福祉施設や医療施設等の監視・指導の徹底

ウ 総括

上記の使命や目標を念頭に、21年度は、世界的に流行した新型インフルエンザの発生に対し、札幌市感染症対策本部を設置し、相談窓口の開設や医療体制の確保等、市民生活や社会経済機能維持に必要な対策を実施いたしました。また、妊婦が経済的に心配することなく、必要な健診を受診できるよう、公費負担の回数、内容の充実を図りました。さらには、70歳以上の方に交付する敬老優待乗車証について、利用上限額の引き上げや利用期間の延長などを行い、使い勝手の向上を図り、また、障がい者交通費助成制度についても、障がい種別によるサービス格差を改善し、利便性の向上を図るよう、新年度に向け見直しを図ることで、高齢の方や障がいのある方をはじめとする市民の視点に立ったサービスに努めてまいりました。

（2）取組結果（実績・成果）の概要

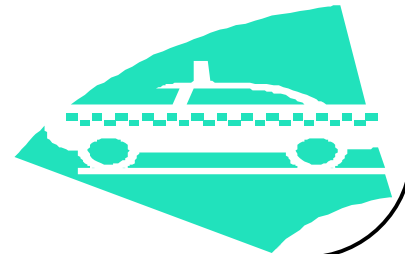
実施プランで掲げた事業について、着実に推進し、効率的で効果的な局運営を行った結果、プラン策定時に予定されていた目標や計画は、概ね達成できたと考えています。各事業の取組結果の概要については、後述の「2 重点取組項目の達成状況」に記載のとおりですが、特にPRしたい事業を紹介します。

障がい者交通費助成制度の見直し

障がい者交通費助成制度につきましては、障がいのある方や関係団体などと80回以上にわたり意見交換を行うなど、1年以上の時間をかけて議論を重ねてきました。それらの議論を踏まえ、障がい種別による助成内容の格差を改善するとともに、利便性の向上を図るという観点から制度を見直し、22年4月から新たな制度をスタートさせることとしております。

主な改正点としては、ウィズユーカードの助成額の統一、定期券の廃止により助成内容の格差を改善し、タクシー券の定額券化、タクシー券・ガソリン券の交付対象の拡大により利便性の向上を図っております。

また、通所については、特別な配慮が必要であることから、制度の見直しに合わせて「身体・知的障がい者通所交通費助成制度」を新設します。



札幌市の新たな医療体制の構築

救急医療体制の継続的確保のため、一次救急医療機関への補助金を増額し、参加医療機関への支援体制を拡充しました。

産婦人科救急医療体制については、さらなる充実を図るため、オペレーターの対応時間を日中帯にも拡大しました（電話相談は夜間のみ）。また、市民が安心して妊娠・出産できるよう、22年1月18日から「赤ちゃんのキモチで考えよう！未受診妊婦防止キャンペーン」を実施しております。ポスターの掲示・啓発用品の配布等により、今後も継続してキャンペーンを広めていきます。

さらに、市民が安心できる医療提供体制を構築することを目的として、「札幌市医療計画」の策定を進めています。今後、関係機関・医療従事者等との協議を重ね、医療計画策定に向けた検討を進めていきます。

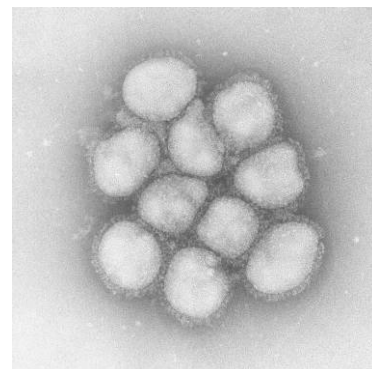
赤ちゃんの
キモチで
考えよう！

新型インフルエンザ対策の推進

新型インフルエンザは、誰もが免疫を持っていないことから、大規模かつ急速なまん延が懸念されています。本市においても、行動計画の策定、全庁的な連絡会議の開催など、発生に備えた対策を進めておりましたが、21年4月下旬に、豚由来とされる新型インフルエンザ(A/H1N1)が発生し、その後、世界的な流行となりました。

本市では、相談窓口を設置し、市民の健康不安に対応するとともに、札幌市感染症対策本部を設置し、市民生活や社会機能の維持に必要な対策を実施しました。

また、重症化防止を目的とした国の定めた基準に基づき、ワクチン接種体制を整備しました。新型インフルエンザ(A/H1N1)の流行は終息に向いつつありますが、第2波としての流行や、新たなウイルスの流行に備え、引き続き対策を推進します。



写真：新型インフルエンザ(A/H1N1)ウイルスの電子顕微鏡写真
提供：国立感染症研究所

(3) 平成22年度に向けての取組

22年度についても、「誰もが安心して快適に心ゆたかに暮らすことのできるまちづくり」を実現するため、一つ一つの課題に真摯に取り組む、市民の皆様とともに、持続可能な行政サービスの実現を目指していきます。

また、区役所や他部局との連携をより一層強化するとともに、市民や事業者のご理解とご協力を得ながら、高齢の方や障がいのある方への就労や社会参加を積極的に支援していくほか、地域における健康づくりの活動を一層促進し、『地域福祉力』の向上に努めていきます。

これらの取組みを着実に推進し、成果を市民の皆さんに実感してもらえよう、職員一人ひとりが自覚を持ち、全力を尽くしてまいります。

平成22年(2010年)3月31日

保健福祉局長 岡村 龍一

保健福祉局医務監 渡部 正行

2 重点取組項目の達成状況

21年度の取組みの達成状況について、記号などを用いて、市民の皆さんに分かりやすいものとなるよう表現しました。

期 末 報 告 の 見 方

事業名を記載(記載済)

達成度 /

事業の内容を記載しました。

取組結果の概要

年度末(3月末)時点における達成状況を記載しました。

翌年度に向けた取組

22年度に向けた取り組みなどを記載しました。

年度末(3月末)時点の達成度を分かりやすく記号で表現しました。

- ・・・計画以上のもの(進捗良好・内容充実)。
- ・・・計画どおりのもの。
- ・・・計画に対して思わしくないもの。

(1) まちづくりの施策

高齢者の地域生活支援の充実

ねんりんピック北海道・札幌 2009

達成度 /

9月5日(土)～8日(火)の4日間、ねんりんピックが盛大に開催され、無事終了いたしました。

取組結果の概要

札幌市では、剣道、グラウンド・ゴルフ、サッカー、水泳の4種目の交流大会を開催した他、総合開会式、総合閉会式など、さまざまなイベントを開催いたしました。

翌年度に向けた取組

今後より一層、高齢者の方々の健康保持・増進、生きがい、社会参加への支援を進めてまいります。

福祉のまち推進センター補助・ステップアップ事業

達成度 /

区や地区福祉のまち推進センターによる地域の支え合い活動を推進するため、活動費や拠点確保について支援をします。

取組結果の概要

活動費や拠点確保の支援のほか、地域の支え合い活動を推進するため、地域にアドバイザーを派遣し、地域の課題整理、住民意識の共有化等の支援をしました。また、活動を多くの市民の方に知ってもらうため、フォーラムやパネル展を開催しました。

翌年度に向けた取組

引き続き、活動費や拠点確保の支援を行うとともに、地域の支え合い活動を推進するため、地域へのアドバイザー派遣地区数を増やします。

アドバイザー派遣地区： 21年度6地区 22年度7地区



福祉除雪事業

達成度 /

自力で除雪が困難な高齢者や障がいのある方が冬期間も安心して暮らせるよう、地域協力員が間口除雪などのサービスを行うとともに声かけなどの安否確認を行います。

取組結果の概要

利用世帯 20年度 4,118 世帯 21年度 4,148 世帯
地域協力員 20年度 2,625 名 21年度 2,721 名

翌年度に向けた取組

地域協力員の拡充に向け、大学等に通う若い世代にも積極的に参加を促していきます。



高齢者ひとくち講座事業

達成度 /

介護予防の一環として、介護予防センターと食のボランティアの食生活改善推進員協議会が、高齢者の食事のアドバイスや食品の提供を行う講座を開催しています。

取組結果の概要

「高齢者ひとくち講座」は、1,246人(71回)の参加がありました。参加者アンケートでは、「また、参加したい」「参考になった」という人が9割を超えていました。ボランティア活動事業として大変好評な事業になりました。

翌年度に向けた取組

22年度も引き続き実施する予定ですが、21年度実施した介護予防センター等を対象としたアンケート調査をもとに、事業の改善を図ってまいりたいと考えております。



はつらつシニアサポート事業

達成度 /

高齢者の地域貢献活動に結びつけるきっかけづくりとなるような、新しい時代の高齢者の生きがい活動の支援として、シニアチャレンジ事業、シニアサロンモデル事業を実施します。

取組結果の概要

シニアチャレンジ事業では、1団体の先駆的な取組に対して支援しました(累計16団体)。また、シニアサロンモデル事業では、高齢者の生きがい、地域貢献活動等の拠点づくりのため、新たにサロンを1か所新設しました(計10か所)。

翌年度に向けた取組

社会貢献活動に取り組んでいる団体等への支援に実績のある「札幌市市民活動サポートセンター」と連携し、制度の普及啓発や活動支援の強化を図っていきます。



札幌あい(愛)・あい(目)ネット事業 (さっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワークモデル事業)

達成度！

集合住宅に住むひとり暮らし高齢者等の孤立死を防止するため、1年間のモデル事業で得た成果を報告書にまとめ、それを活用して全市を対象に普及啓発に取り組めます。

取組結果の概要

中央区及び豊平区の4棟のマンションにおいて、見守り対象者の把握や安否確認の仕組みづくりについて検討してきた成果を報告書としてまとめ、出前講座やシンポジウムにより普及啓発に取り組めました(19~21年度累計:73回・4,647人)。



翌年度に向けた取組

近隣住民による安否確認等の取組に加え、新聞販売店等の各種事業者との連携による複合的な見守り・安否確認システムの構築をモデル事業により進めます。

認知症サポーター養成事業

達成度！

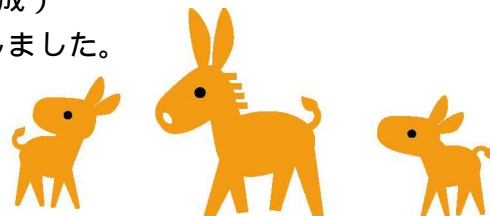
認知症になっても安心・安全に暮らせるよう、地域における認知症の理解者(=認知症サポーター)の養成を行います。

取組結果の概要

認知症サポーター養成研修を128回開催し、4,961人のサポーターを養成しました。(17年度からの累計で12,013人のサポーターを養成)
なお、福祉職場職員向け研修を開催し、420名養成しました。

翌年度に向けた取組

認知症サポーター講座の市民への効果的な周知方法を検討します。



地域包括支援センター(介護・健康何でも相談センター)運営事業

達成度！

介護予防支援の拠点となる地域包括支援センターについて、体制強化を図るとともに、22年度から4か所の増設をします。

取組結果の概要

22年4月1日から北区、東区、厚別区及び手稲区に各1か所増設し、市内21か所で運営します。また、センター職員について、地域の高齢者人口に応じた増員を行います。

翌年度に向けた取組

地域包括支援センターの名称について、市民に分かりやすく、かつ親しみやすい愛称を検討します。



特別養護老人ホーム新築費補助

達成度 /

高齢者が要介護状態になってもできる限り住み慣れた地域で生活を継続できるように、地域密着型の特別養護老人ホーム 2 か所の新築に対して補助を行います。

取組結果の概要

21年度は2か所の整備に着手し、それぞれ22年4月と22年7月の開設を予定しています。(他に補助なしで1か所整備【21年10月開設済み】)

翌年度に向けた取組

施設整備計画に基づく整備を着実に進めます。

地域密着型特別養護老人ホームの整備状況

| 20年度末 | 21年度整備 | 計 |
|-------|---|----------------|
| 5か所 | 3か所 | 8か所 (計画8か所) |
| | ひびきの郷札幌 定員29名 <社福>天寿会> 栄町 定員29名 <社福>札幌山の手リハビリセンター> 八軒ふくろうの森 定員29名 <社福>いちはつの会> | |

若年性認知症支援事業

達成度 /

若年性認知症の理解を広め、若年性認知症の方とその家族の方が住みなれた地域での生活を継続できるよう支援します。

取組結果の概要

若年認知症の人と家族を対象とした「電話相談」「1日相談会」「講演会(市民向け、介護従事者向け)」を開催しました。認知症の人を在宅で介護する男性介護者を対象とした「ケア友の会(男性介護者のつどい)」を開催しました。

翌年度に向けた取組

若年認知症を含めた認知症の人と家族を支援するため、認知症コールセンターを開設します。



札幌市地域リハビリテーション推進協議会

達成度 /

高齢者や障害のある方が、住み慣れた地域で生き生きと自立した生活をおくれるように地域リハビリテーションを推進します。

取組結果の概要

同協議会内の情報部会では、情報発信のための「地域リハビリテーションハンドブック」を発行し、研修部会では地域リハビリ従事者の資質向上のため、研修会を3回開催しました。

翌年度に向けた取組

地域リハの啓発と技術普及を推進するため、研修部会において地域研修会・全体研修会を継続開催します。



障がい者の自立支援の促進

障がい者相談支援事業等

達成度 /

障がいのある方とその家族の地域生活を支えるため、各種制度の情報提供や福祉サービスの利用援助などの相談ができる相談支援事業所を拡充していきます。

取組結果の概要

すべての相談支援事業所であらゆる障がいの相談支援を行える体制づくりや虐待対応員の配置など機能強化を図り、21年10月に相談支援事業所を1か所増やし15か所にしました。



翌年度に向けた取組

22年10月に相談支援事業所を1か所増やし、さらなる相談支援体制の充実を図ります。

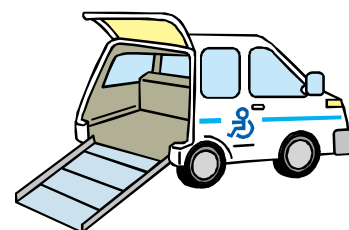
障害者就労訓練設備等整備事業

達成度 /

障害者自立支援法に基づく新体系事業への移行を円滑に進めるため、障がい者施設等に対し、移行にあたって必要となる設備整備費に対して補助を実施します。

取組結果の概要

新体系移行を計画している既存の障がい者施設等(計8か所)に対して当該補助を行いました。その結果、各施設等は、23年3月までに新体系移行を完了できる見込みです。



翌年度に向けた取組

新体系移行を促進するため、本年度同様、対象となる障がい者施設等に迅速な情報提供を行います。

元気ショップ運営事業

達成度 /

障がいのある方が作った製品を販売する「元気ショップ」(地下鉄大通駅定期券発売所横)をより効果的に運営し、市民の障がいに対する理解促進を図っていきます。

取組結果の概要

ねんりんピックなどさまざまなイベントへの出店のほか、新たに子どもの障がいに対する理解を進めるため製品づくりなどの体験イベントを実施し、前年度を上回る売上(4,100万円)を達成しました。



翌年度に向けた取組

障がいのある方が作った製品をより多く販売できるよう「元気ショップ」を拡充整備し、市民の障がいに対する理解をさらに進めていきます。

障がい者施設等に対する発注機会の拡大

達成度！

障がい者施設などで製作された製品などの発注機会の確保と拡大に向けた検討を進めていきます。

取組結果の概要

施設で行っている清掃などの役務サービスの発注を進める「元気ジョブ アウトソーシングセンター」を新たに事業化し、民間企業等への営業や、仕事の受注調整等を行いました。



翌年度に向けた取組

「元気ジョブ アウトソーシングセンター」を核として、民間企業等への営業を進め、障がい者施設への発注促進を行っていきます。

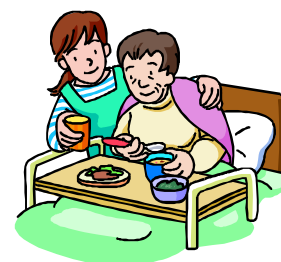
知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成モデル事業

達成度！

知的障がいのある方の社会参加を支援するため、NP 法人など民間団体と連携し、高等養護学校卒業生などを対象に、ホームヘルパー3級養成講座を実施します。

取組結果の概要

受講者17名（うち障がいのある方9名）全員が講習を修了し、19・20年度とあわせて54名（うち障がい者29名）が資格を取得しました。



翌年度に向けた取組

資格取得後の社会参加などの効果を検証するとともに、より就職に有利な2級講座もあわせて実施していきます。

元気はっけん(派遣)事業

達成度！

人材派遣会社を通じた企業等への派遣を試行的に実施し、重度の障がいのある方などの民間企業での雇用機会を広げていきます。

取組結果の概要

昨年9月に第1号となる派遣が成立し、その後、正規雇用に結びつきました。登録件数も順調に伸び、いくつかの企業と派遣受入の調整を進めています。

翌年度に向けた取組

障がい種別ごとに派遣実績を増やすなど、当該事業が障がい者就労に適しているか検証していきます。



障がい者協働事業

達成度 /

障がいのある方が他の従業員からサポートを受けながら共に働く、協働事業所を拡充していくとともに、当該事業を広くPRし、障がい者雇用に関する理解を進めていきます。

取組結果の概要

新規補助希望事業者の募集を行い、外部委員が参加した選定委員会で2事業者を選定し、合計8事業者で事業展開しています。

翌年度に向けた取組

翌年度はさらに2事業者を増やし、10事業者での取組を広く市民にPRしながら、障がいに対する理解を促進します。



精神障がい者地域生活移行支援事業

達成度 /

条件が整えば退院可能な精神障がい者に対して、個別支援等にあたる地域移行推進員等を配置し、退院に向けた支援を行うことにより、円滑な地域移行の促進を図ります。

取組結果の概要

市内5か所の精神科病院に入院中の患者10名に対して、退院及び地域での生活に向けて支援を行いました。

また「札幌市精神障がい者地域生活移行支援協議会」を開催し、効果的な仕組みづくりについて検討しました。

翌年度に向けた取組

関係機関に対して普及啓発及び協力依頼を行い、事業利用者の増加を図ります。



優しさと思いやりのバリアフリー

達成度 /

「数値化されたバリアフリー基準のみに頼るのではなく、障がいのある方や高齢者の力を借りて、人の目や感覚で確認していくバリアフリー」を検討します。

取組結果の概要

「第5期札幌市福祉のまちづくり推進会議」の中で検討し報告書を取りまとめるとともに、これに沿った内容の新たなシステムを策定すべく関係団体等と協議を行いました。

翌年度に向けた取組

新たに策定したシステムについて、22年度の運用開始を予定しています。



地域活動支援センター(就労者支援型)運営費補助事業

達成度 /

就労者支援型の地域活動支援センターへの補助を実施し、就労している障がいのあ
る方の日常生活・就労面双方の相談等に応じていきます。

取組結果の概要

障がいのある方や企業からの相談に応じるとともに働く障がい
者の交流支援を行いました。

翌年度に向けた取組

翌年度1か所増として、さらにハローワークなど関係機関との
連携を強め、引き続き、障がいのある方や企業への相談支援等
を行っていきます。



障がい者グループホーム・ケアホームの拡充

達成度 /

障がいのある方が安心して地域での自立生活を営むことができるよう、暮らしの場と
なるグループホームやケアホームを拡充していきます。

取組結果の概要

20年度末：216か所 21年度末：245か所
目標整備数の26か所を上回る、29か所増となりました。

翌年度に向けた取組

新規設置の際の備品購入経費について補助を行う「札幌市
障がい者グループホーム・ケアホーム設置費補助事業」につ
いて、随時法人に案内します。

のぞみ学園改修事業

達成度 /

昭和56年度に建設された第1種自閉症児施設「札幌市のぞみ学園」は、老朽化・狭
隘化が進んでいるため、利用者に適切な療育環境を提供するための改修工事を行います。

取組結果の概要

利用者が改修中に使用する仮施設の工事を終わりました。
また、本体施設についても基本・実施設計を終え、改修工
事の一部を行いました。

翌年度に向けた取組

22年秋頃の供用開始に向け、残りの改修工事を行い適切な
療育環境を整備します。



地下鉄エレベーター等の整備

達成度 /

高齢者や障がいのある方などの社会参加を促進し、誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりを目指して、地下鉄駅のエレベーターを設置します。

取組結果の概要

南北線中の島駅（真駒内方面）に加えて、東西線東札幌駅（新さっぽろ方面）のエレベーターの設計を完了しました。

【地下鉄全駅全方向のエレベーター整備に着手】

翌年度に向けた取組

中の島駅（真駒内方面）、東札幌駅（新さっぽろ方面）のエレベーター工事に着手します。



医療体制の確保

産婦人科救急医療体制の充実

達成度 /

医療機関の受入れ可否情報の集約、患者搬送の手配、夜間における産婦人科に関する救急電話相談を行います。

市民の不安解消、医師の負担軽減を図ることが出来ました。
また、日中の時間帯においてもオペレーター業務を拡大し、救急搬送が必要となった患者に、適切な医療を提供することができました。

関係医療機関との連携をさらに強化し、引き続き、迅速な救急搬送を継続します。



救急医療体制の確保

達成度 /

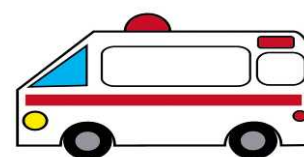
札幌市における救急医療体制をより円滑に推進するため、救急医療体制整備支援事業を進めます。

取組結果の概要

救急医療の当番体制を予定通り実施し、市民の皆様安心していただける救急医療体制を確保することができました。

翌年度に向けた取組

関係機関と連携し、引き続き、安心・安全な救急医療体制を提供していきます。



精神科救急医療体制整備事業

達成度 /

精神障がいのある方やその家族からの医療相談に 24 時間対応し、医療機関への連絡調整など適切な対応を行う「精神科救急情報センター」を運営します。

取組結果の概要

22 年 3 月末までに 4,896 件の電話相談を受け、その内 12% は医療機関につながり、88% は電話相談の対応により相談者の解決の一助となりました。

翌年度に向けた取組

今後とも、情報センターの機能の充実を図り、平日夜間・休日における患者・家族の医療相談に適切に対応し、精神障がいのある方の地域生活を支えていきます。



災害時医療体制の整備事業の推進

達成度 /

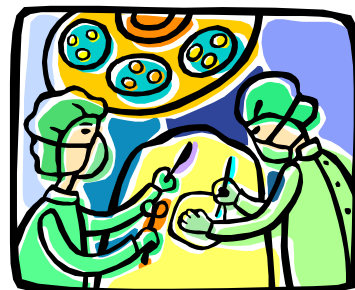
大地震等により多数の負傷者が発生した時に、適正な医療を迅速に市民に提供できるように、札幌市医師会等の関係団体や医療機関が一堂に会した訓練等を実施します。

取組結果の概要

大地震等により多数の負傷者が発生した時に、適正な医療を迅速に市民に提供できるように、札幌市医師会等の関係団体や医療機関が一堂に会した訓練等を実施しました。

翌年度に向けた取組

今回の訓練を通して得られた課題を基に、現体制のさらなる改善を目指します。



新型インフルエンザ対策の推進

達成度 /

市内においても感染者が確認され、発熱外来の設置など医療体制の確保や、市民生活や社会経済機能の維持に必要な対策を実施します。

取組結果の概要

相談窓口（新型インフルエンザ相談センター）の設置や、患者の発生・流行状況に応じた対応を実施しました。また、重症化防止を目的としたワクチン接種について費用の助成を行いました。

翌年度に向けた取組

今回の新型インフルエンザへの対応を検証し、札幌市新型インフルエンザ対策行動計画の見直しを図るなど対策を推進します。

